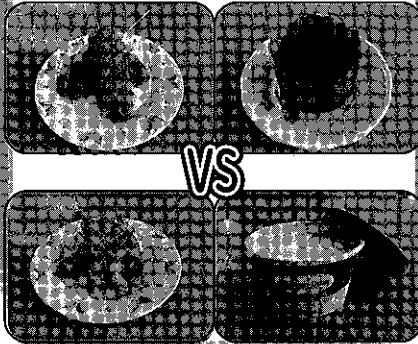


選振食

●3月18日●

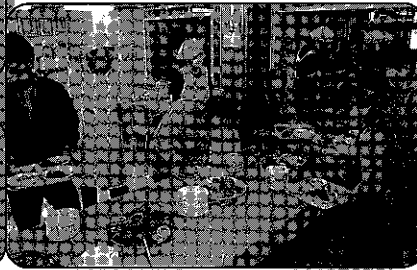
激しいバトルの末、勝者…串カツ！デザートは僅差でフォンダンショコラでした。



バイキング食

●2月10日●

色とりどりの料理に目移りしつつ、皆さんたくさんおかわりをして、お腹いっぱい大満足の一日でした。やっぱりバイキングって楽しいですね。



グレープレク カラオケ・ボウリング

●1月27日●

カラオケでは、お気に入りの曲を5回も歌いました。ボウリングでは、プロ並みの？腕前を披露してくれました。



四月よりあけほの荘にて勤務となりました。介護職として働く事は初めてであり、仕事に関して皆様から教えて頂く事は、張りつていきたいと思っております。ご指導のほど宜しくお願い致します。

介護職員 西海まち子

よろしくお願ひします



あけほの荘に来て八年十ヶ月、みなさんと逢え、楽しく過ごせた事がとてもうれいす。ありがとうございます。みなさんもお元気で過ごしてください。

介護職員 吉崎美代子

お疲れ様でした

<http://www.akebonoso.jp>

★ホームページ紹介★
行事の様子も本誌ページにも載っています。是非ご覧下さい。

新しい担当です

男子担当	女子担当
杉村 教子	澤田 いづみ
篠田 鶴子	伊田 弓子
山田 正枝	惣伊 綾子
鈴木 絵美	白石 奈美
小田 美奈	竹内 恵美
	高島 美子
	高橋 まち子
	高橋 教子
女子担当	
丸口 清子	
金谷 美幸	
水沢 結花	
葉多 紗織	
反保 玉恵	

●3月19日●

乳癌・子宮癌検診

乳癌検診 子宮癌検診

入退院

入所者の動き

- 入退院
 - 泉 潤子さん 十月二十三日～一月十六日
 - 成田 耕二さん 十二月四日～十二月十八日
 - 荒井 正太さん 十二月四日～二月二十六日
 - 三月六日～
 - 成田 徹さん 一月二十九日～一月三十日
 - 前川 栄作さん 一月三十日～
 - 細川 武夫さん 二月五日～二月六日
 - 岡野 吉男さん 二月十二日～二月十三日
 - 三月五日～三月十七日
 - 佐藤 誠さん 三月十日～三月十七日
 - 鶴見 洋子さん 三月二十五日～
- 入所者
 - 平田 正雪さん 二月十九日付 札幌市
- 退所者
 - 西脇美津子さん 一月三十一日付 (入院)
 - 山田 敦子さん 一月三十一日付 (入院)
 - 工藤 隆男さん 二月二十八日付 (入院)
 - 大橋 昭吉さん 三月三十一日付 (入院)
- 一時保護
 - 一月一日～三月三十一日
 - 入所者三名 ・ 退所者五名

おくやみ

一月十日 永谷 嵩さん(享年七十八歳)が亡くなりました。心より御冥福をお祈りいたします。

白石福祉園だより

平成二十七年年度事業計画について

園長 家久 雅博

救護施設は、利用者に関わる事業の範囲に留まらず、地域における生活困窮者対策並びに社会貢献事業を法人とともに幅広く展開していかねばと考えております。

また、達成目標年度とされた「救護施設が取り組む生活困窮者支援の行動指針による居宅生活訓練事業をはじめ他の事業にも積極的に取り組んでいく方針であります。

国の社会保障や生活保護制度の動向を注視しつつ、社会に貢献できる施設運営を推進していきます。

本年度の重点目標として、

①「社会貢献事業への参加協力」高齢者・障害者世帯の見守り・訪問活動並びに福祉除雪サービス事業の継続と、更には障がい者対策として相談支援事業所との連携と、一部業務での雇用を進めます。

②「行動指針にいう各種事業の展開」既に成果をあげつつある居宅生活訓練事業の継続と他の事業の取り組み。

③「施設実習研修等の強化」これまで実施している施設との相互実習の継続と、新たな施設との実習研修と各種研修会への参加。

④「安心・安全な施設生活のための健康保全対策」

各委員会活動により、利用者の健康管理と衛生指導及び事故防止対策の実施。

⑤「計画的な資金運営と業務の見直し」新規入所者の確保と施設建物などの維持管理による資金の計画的運用の徹底。

⑥「食の安全と栄養管理の徹底」安全な食材の提供と改善。

⑦「地域との連携強化と安全対策」

⑧「防災計画による安全対策の取り組み」を掲げ安心・安全な施設運営を目指します。

処遇計画

方針

施設利用者個人がその人らしい自立した生活を送ることが出来るようにという理念に基づき、個別支援計画を活用しながら、個々のニーズに添えるよう努力して参ります。

作業、クラブ、レク等の充実を図り、同時に健康管理にも留意して参ります。

《重点目標》

- ・健康で生きがいの持てる生活を送る
- ・日常生活での自立のニーズの充足
- ・高齢者や障害の重い利用者の生活充実

《個別指導》

利用者のニーズを踏まえ、対話を重視しより充実した生活が送れるように配慮します。

また集団の中で個々の生活保障を支援していきます。

《作業》

作業は日課の大きな部分を占めていることを念頭に置き、生きがいや意欲向上のきっかけになるように園内園外作業を進めていきます。

《リハビリ訓練》

体力向上、残存能力の維持のために、個々にあわせた運動を行ってもらいます。専門的な技術が必要な方に関しては、柔道整復師の対応を継続依頼します。

《自主的活動》

多くの人が参加できるように工夫し、情緒の安定と充実した余暇の活用につくようしていきます。

《行事》

利用者個々の希望が生かされ、楽しむことのできる行事を実施していきます。

季節を感じていただけるように要所に行事を組み込んでいくことも計画しております。

《給食》

生命維持、健康維持を目的とした安全でニーズに合った食事を提供していきます。

また利用者の意見を会議で取り入れ、お楽しみ献立、行事食なども導入していきます。

《健康管理》

高齢化により様々な病気にかかる可能性を考慮し、嘱託医や各職種間で連携を密にとり、予防と対応に努めていきます。

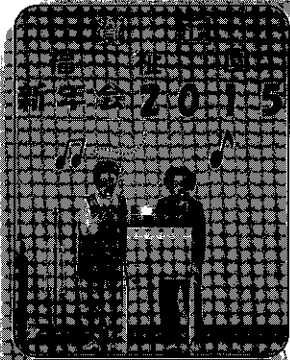
《防災体制》

自立避難者が減少していますが、万一に備え定期的に避難訓練・消火器訓練などを実施していきます。

新年会

1月8日

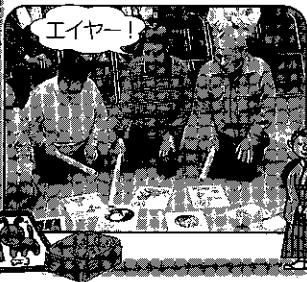
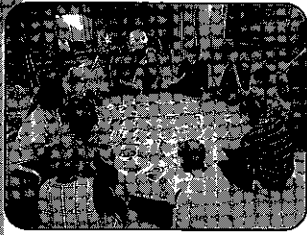
新年最初の行事、新年会をご紹介します。
園長の落語から始まり、各々のカラオケを披露したり、舞踊クニフの踊りを披露したりと様々な演芸を楽しんでおりました。
最後は職員対抗の羽根つき大会を開催し、負けた方は墨を塗られていましたが、結局どの方も墨だらけになった新年会でした。



カルタ大会

1月15日

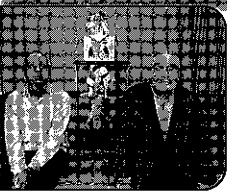
福祉園内でカルタ大会を行いました。
お正月と言えば、との行事で新聞紙を丸めた棒で、札を叩いていました。
たまにひっかけ問題もあり、お手付きをされる場面もありましたが、白熱した戦いでした。



年男・年女

節分

2月3日

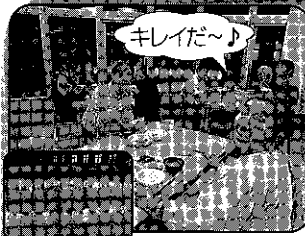


今年も門馬和さんと、神村正勝さんが年男でした。今年も年女さんはいませんでした。
羊のように穏やかに健康的に過ごしていただければと思います。

今年の年男・年女さんに袴を着てもらい、豆をまいてもらいました。
一生懸命投げてもらい、福を呼び込んでもらいました。最後は赤鬼と青鬼が登場したので、一斉にボールで退治！
厄もすっかり落とした行事になりました。



アイスキャンドル

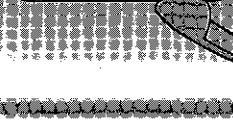
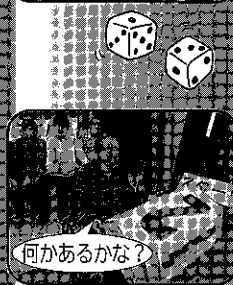


冬に少しでも感動を、という事で、職員と園生で考えた結果、アイスキャンドルを作成することになりました。
赤青黄緑など様々な色の水で作成し、食堂の前に飾りました。夕食時に暗がりの中、幻想的な雰囲気で大成功を収めました。

園内ゲーム大会

2月12日

今回は試行錯誤を重ね、全てのゲームを一新しました。まずは集会室を使った人間スゴロクです。手作りの大きなサイコロを使って、自分の足でマスを歩いてもらいました。
マスの中には職員とじゃんけん勝負という指示もあり、会議室では、スリッパ入れとゲームコーナーを行いました。
スリッパ入れは、椅子に座った状態で、スリッパを段ボールのゴールに入れるゲームです。簡単そうに見えますが、なかなか難しく、盛り上がっていました。
ゲームコーナーは、静心堂デイサービスセンターからボードゲームを借り、職員が相手となり遊びに来る園生とゲームをするという内容でした。
普段ゲームを共にすることがない人も出て来て、楽しかったとの意見が多く聞かれました。



バイキング

3月9日・12日

今年もガトーキングダム・シャトレレーゼに行き、バイキングを楽しみました。各々、好きな物を皿にとって、開放的な空気の中、お代わりをしておられる方がいっぱいいました。ケーキなどのデザートも多く、色々なケーキ、アイスなども目で楽しみ、味を楽しみ、二月のいい思い出となりました。

食事会

3月26日

ガトーキングダム・シャトレレーゼにて、会場を借りてテーブルでござそうを食べる食事をしました。一皿に綺麗に盛り付けられた料理が並べられ、みなさん美味しくいただきました。次々に出てくる料理を食べ、今年度最後のレクを楽しませていただきました。

居宅生活訓練事業

★林 澄夫さん★
八月で訓練を終了する予定ですが、色々な課題も残っているので、それらに向けて頑張りたいと思います。今まで、職員の方がやってくれていたことも少しづつ、自分でできるようにしていきたいと思えます。無理をしないよう、頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

★片山 哲也さん★
昨年、色々な方のお世話や支援により、白石福祉園の居宅生活訓練事業に参加させていただき、大変感謝しております。四月からも居宅と白石福祉園での生活で日々の生活リズムを作り、自分の将来の基礎としていきたいと思えます。今後もしっかり頑張ります。

★小森 明さん★
今月初めの参加になり、不安もありましたが、頑張ってきたと思います。施設の当番はもちろんのこと、作業関係もしっかりと参加し、メリハリのついた生活をしていくものに職員と話し合いしながら進めようと思っています。

☆ホームページ紹介☆
行事の様子はホームページにも載っています。是非ご覧下さい。
<http://www.fukushien.sapporo-koseikai.jp>

入退院

入退院	千石 幸男さん	一月十五日	一月十六日
入退院	田淵 郁子さん	一月二十日	一月二十三日
入退院	小山内 石五郎さん	二月十七日	二月十七日
入退院	横山 秀雄さん	二月十七日	二月十七日
入退院	吉川 永喜さん	二月二十四日	三月六日
入退院	池田 英一さん	三月一日	三月二十日
入退院	藤田 文子さん	三月三日	三月十一日
入退院	小松 文子さん	三月三十一日	三月三十一日

入所者

入所者	及川 剛さん	二月十九日付	札幌市厚別区
入所者	渡辺 ハナさん	二月二十日付	札幌市南区
入所者	小林 和枝さん	二月二十八日付	札幌市厚別区
入所者	金留 知枝さん	三月三十一日付	札幌市厚別区
一時保護	入所者四名	一月一日	三月三十一日
一時保護	退所者六名	一月一日	三月三十一日

おくやみ

三月二十五日 小松 文子さん(享年一〇〇歳)
三月二十七日 池田 賞一さん(享年七十歳)
が亡くなられました。
心より御冥福をお祈りいたします。

年間の主な行事

4月	ツツピング(西)和食レク
5月	満足ツツピングカ(ア)カ
6月	泊りの福地園長祭
7月	泊りの福地園長祭
8月	七夕盆踊り
9月	泊りのツツピングレク
10月	出前 福地園文化祭
11月	福地園記念行事
12月	クリスマス会
1月	新年会
2月	園内ゲーム大会
3月	食事会・春餅作り会

新しい担当です!

特別棟	原田由美子 桑田 利恵 後藤 美和 渡辺 せつ子 栗生 慶太 太田 穂口	男子棟	工藤 浩次 佐々木美枝子 盛 賀名子 太田 弘美 堀井美千子 松本 梨花 馬場 純子 廣川 一美 平山 百合 佐藤 千春
		女子棟	松本 梨花 馬場 純子 廣川 一美 平山 百合 佐藤 千春

静心寮老人デイサービスセンター

平成二十七年事業計画について

所長 石井 喜代美

二十七年年度の介護制度の見直しの中、基本報酬の減額は明らかです。また、介護職員処遇改善加算に関しては、賃金面の改善を図るうえで、介護福祉士手当や、寒冷地手当の支給、六月、十二月の一時金支給額の改善につなげていきたいと思っております。

曜日によって利用者様の人数が異なることから、適正な勤務体制、また、事業活動においては、これまで以上の元費の削減に努めていきます。

職員の異動が多い中、改めて利用者様との信頼関係づくりを重点目標として取り組んでいきます。日々のサービス提供において基本となるのが人間関係であり、ただ業務をこなすのではなく利用者様一人一人を思う気持ちを大切にした姿勢で関係づくりを図っていきます。

新規採用者を含め、研修計画においては外部での受講のみではなく、内部研修の実施を進め、職員個々が自分の目標を作りその達成のため、少人数の事業所であり職員全体で取り組んでいくようにします。

送迎に関しては利用者様の安心のために適正な職員体制の配備、車両の保守管理について

継続して努めていきます。

入浴については、大きな浴槽にスロープで入浴できる点を生かし、身体の清潔を保持し、心身のリラクセスを図ります。又、身体状況に応じて機械浴の対応も行ない、安全な入浴の提供を図ります。

機能訓練については、全体体操の内容を3ヶ月毎に見直し、身体機能の維持向上に努めていきます。建物の広さを生かした歩行訓練も楽しみながら参加できるように工夫をしていきます。生活機能向上にむけても、心身のリフレッシュやストレスの解消、機能の維持、回復の側面も持たせ、且つ楽しめる内容になるようその都度見直しながら進めていきます。

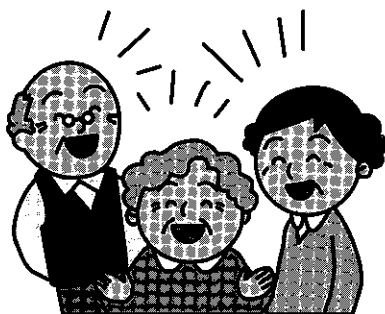
レクリエーションについては利用者様の楽しみにされている外出レクなどは希望を十分考慮したのものになるようにし、ボランティアの方の踊り等の披露の機会も設け、楽しんでいただけるよう工夫をしていきます。

外出が不自由な方への訪問美容の利用についても連携を継続して提供していきます。

デイサービス事業所が増えている中、長く利用を続けていただいている利用者様も多く、その利用者様お一人お一人の声にきちんと耳を傾けながら、また、ご家族や担当介護支援専門員との連携を大切にサービスを提供していくように努めます。

月別年間行事予定

- 四月 ビンゴ、射的、ボウリング
 - 五月 バックゲーム、風船あてゲーム、外出レク
 - 六月 魚釣り、大運動会、輪投げ
 - 七月 ペアゲーム、外出レク、ボウリング
 - 八月 夏祭り、ビンゴ、鈴虫ゲーム
 - 九月 敬老週間、ロケットゲーム、銭形平次ゲーム
 - 十月 風船あてゲーム、外出レク、玉入れゲーム
 - 十一月 射的、ボウリング、輪投げ
 - 十二月 クリスマス制作、クリスマス兼忘年会
 - 一月 獅子舞披露、新春カルタ大会、豆まき
 - 二月 カーリング、わかさぎ釣り、ひな祭り制作
 - 三月 ビンゴ、ボウリング、外出レク
- ※月例行事としてゴルフ大会を実施。



厚生会だより

事業方針

社会福祉法人制度の意義、役割を問う直す厳しい指摘がある中、今後福祉の担い手として地域住民等から信任を得続けるためには、制度で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献の必要性が求められます。

救護施設にとつては本年四月から施行される生活困窮者支援法による中間的就労訓練事業の動向が見えない状況である。一方、昨年の人事院勧告により、国家公務員給与の改定に伴い一部人件費の増があったが改善にはほど遠いものであります。

介護保険制度は、今回大幅な制度見直しと中重度の要介護者や認知症への対応の強化を軸とした新たな改正となったが、基本報酬は減額である。一方、処遇改善の面では介護職員処遇改善加算は継続されたが、人材不足の解消に至るものではありません。

保育関係では、今年度から始まる子ども・子育て支援新制度による補助金は増える見込みとなったが、先行きの不安はぬぐい去れず、保育士処遇改善特別事業賃金の改善等は見られるものの、人材確保は難しい問題となっております。

法人としては、大規模化、複数法人による連携、経営の高度化、透明性の確保、地域への貢献等具体的対応が求められていると共に特に社会福祉法人への理解を高める為に経営情報の公開も求められています。

役員人事

三月二十四日開催の評議員会に於いて、任期途中における理事の退任・選任が左記のとおり承認されました。

- (退任・理事) 田井 秀典 (三月二十四日付)
- (退任・理事) 伊藤千鶴子 (三月二十四日付)
- (新任・理事) 藤田 善昭 (三月二十五日付)
- (保護司・兼善寺住職)
- (新任・理事) 三浦 敏人 (三月二十五日付)

平成二十七年五月一日迄の残任期間
また同日、改選期を迎えるにあたり、理事・監事の選任が次のとおり承認されました。

- (任期平成二十七年五月一日/平成二十九年五月一日)
 - (再任・理事) 上瀬戸正則
 - (再任・理事) 千葉 英守
 - (再任・理事) 藤田 善昭
 - (再任・理事) 前田 伸二
 - (再任・理事) 安富 正史
 - (再任・理事) 三浦 敏人
 - (再任・理事) 福嶋 拓明
 - (再任・監事) 山下 勇
 - (再任・監事) 渡邊 彰恭
- 同じく二十四日開催の理事会に於いて、任期途中における評議員の退任・選任が左記のとおり承認されました。
- (退任・評議員) 小池 誠治 (三月三十一日付)
 - (退任・評議員) 越智 隆夫 (三月三十一日付)
 - (新任・評議員) 村田 忠一 (三月三十一日付)
 - (白石区北郷瑞穂町内会・会長)
 - (新任・評議員) 田井 中 (三月二十五日付)
 - (泰和石油(株)代表取締役社長)
- 平成二十七年七月三十一日迄の残任期間

苦情解決第三者委員

同じく二十四日の理事会に於いて、第三者委員が選任されました。

- (任期平成二十七年四月一日/平成二十八年三月三十一日)
- (再任) 渡邊 彰恭
- (社会福祉法人札幌厚生会・監事)
- (退任) 内山 守
- (社会福祉法人札幌厚生会・評議員)
- (新任) 高橋 静恵
- (元社会福祉法人札幌厚生会・評議員)
- (前西の里さらさら保育園園長)

職員の異動

「退職」

- 札幌市あけぼの荘
- 吉崎美代子・介護職員 (二月十日付)
- 静心寮
- 上田 明美・介護職員 (三月十八日付)

「採用」

- 静心寮
- 小山 幸子・介護職員 (四月一日付)
- 香川由紀子・介護職員 (四月一日付)
- 札幌市あけぼの荘
- 西海まち子・介護職員 (四月一日付)

「異動」

- 後藤 美和 札幌市あけぼの荘・介護職員 (四月一日付)
- 葉多 紗織 札幌市あけぼの荘・介護職員 (四月一日付)
- (白石福祉園・介護職員)

「みちしば編集委員の紹介」

- ☆新
- 静心寮 大友 誠二・木下 直彦
- 白石福祉園 門田ひとみ
- 札幌市あけぼの荘 佐藤 元気 松浦レイ子
- ☆栗生 慶太
- 札幌市あけぼの荘 谷口 美幸・竹内 奈美
- 福田 歩

札幌厚生会苦情解決実施報告

苦情解決実施要綱にもとづく各適応事業所及び第三者委員への苦情等の申し出は、今号での報告分はありませんでした。

ホームページ紹介
©社会福祉法人札幌厚生会(法人本部)
sadoro-koseikai.jp
札幌厚生会でも「検索」できます。

個人に関する記事写真等については、全て本人の承諾を得ております。
又、連載されている内容についてはこの機関紙以外に使用するものではありません。

四月から暮らしを取り巻く制度などが変わり、困窮者支援の新しい制度「生活困窮者自立支援法」「マクロ経済スライド」や「介護保険料の改定」、「子ども・子育て新支援制度」もスタートします。さらに、軽自動車税が一・五倍に増税や食品の一部値上げなど、より家計の負担を感じる春となります。

みちしば第一三六号
発行日 平成二十七年四月十五日
発行人 社会福祉法人 札幌厚生会
総括責任者 家 久 雅 博
編集担当 静心寮 八七三・五〇〇一
印刷所 アスカート・ホク印刷株式会社